



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019 年第 24 週 (6/10~16) 【概要版】

2019 年 6 月 20 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 手足口病は草津および甲賀保健所管内で警報発令基準値を超過し、県内全域に警報が発令されました。大津市と東近江保健所管内でも先週と比べて増加しました。
- (2) 咽頭結膜熱(プール熱)は過去 5 年の同時期と比べて非常に多く報告されています。
- (3) 腸管出血性大腸菌感染症(5 歳)が 1 例報告されました。
- (4) 6 月から 9 月にレジオネラ症の報告が増加します。特に 60 歳以上の方は、水しぶきや土埃を吸い込む可能性がある作業を行う場合は、マスクの着用をお勧めします。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) ⁽ⁱ⁾

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
感染性胃腸炎	6.03	5.69	5.59				多		↑	多		多	↑
手足口病	0.94	1.47	3.09	警	○		↑	警	警	多			↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	1.34	1.72				↑	多	多	多	↑		
咽頭結膜熱	1.19	1.03	1.25		○	○	多	多		多			多
ヘルパンギーナ	0.38	0.38	1.00				↑	多					多

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋 賀 県	大 阪 府	京 都 府	福 井 県	岐 阜 県	三 重 県
感染性胃腸炎	<u>6.09</u>	5.69	<u>6.43</u>	5.66	<u>9.52</u>	4.72	<u>6.76</u>
手足口病	<u>2.79</u>	1.47	<u>7.16</u>	<u>2.76</u>	1.43	0.42	<u>4.11</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.66</u> *	1.34	<u>3.32</u>	<u>1.96</u>	<u>3.39</u>	1.28	<u>2.27</u>
咽頭結膜熱	0.69	1.03	0.78	0.59	0.65	0.53	0.62
ヘルパンギーナ	<u>0.56</u>	0.38	<u>1.33</u>	<u>0.51</u>	0.22	0.09	<u>0.49</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県						保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)		大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
二類	結核	8	6	3	○	○		1		1	1			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	○				1					
五類	後天性免疫不全症候群	0	0	1							1			
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	1	○	○					1			
五類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	1					1					
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1									1	
五類	百日咳	0	2	4	-	-		4						

- 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- 警: 警報発令、注: 注意報発令
- 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- 「警: 警報開始基準値を超過」、「注: 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019年第24週(6/10~16)【詳細版】

2019年6月20日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 手足口病は草津および甲賀保健所管内で警報発令基準値を超過し、県内全域に警報が発令されました。大津市と東近江保健所管内でも先週と比べて増加しました。
- (2) 咽頭結膜熱(プール熱)は過去5年の同時期と比べて非常に多く報告されています。
- (3) 腸管出血性大腸菌感染症(5歳)が1例報告されました。
- (4) 6月から9月にレジオネラ症の報告が増加します。特に60歳以上の方は、水しぶきや土埃を吸い込む可能性がある作業を行う場合は、マスクの着用をお勧めします。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)		疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						全国 (前週) (iv)	基準値		
			2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜		高 島	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	0.38	0.36	0.32		○	○	0.64	0.20	0	1.00	0	0	0	0.35	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.06	0.09	0.13		○	○	0.14	0	0	0.40	0	0	0.50	0.21	—	—	—
	咽頭結膜熱	1.19	1.03	1.25		○	○	1.71	2.17	0.25	2.00	0	0	2.00	0.69	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	1.34	1.72				1.43	1.83	2.25	3.40	0.75	0.50	1.50	2.66	8	4	—
	感染性胃腸炎	6.03	5.69	5.59				7.57	2.67	3.75	7.40	3.75	10.00	1.50	6.09	20	12	—
	水痘	0.31	0.25	0.31				0	0	1.00	0.80	0.50	0	0	0.45	2	1	1
	手足口病	0.94	1.47	3.09	警	○		2.71	6.00	5.25	4.00	0	0.25	1.00	2.79	5	2	—
	伝染性紅斑	1.13	1.19	0.53		○		1.00	0.83	0.75	0.40	0	0	0	0.71	2	1	—
	突発性発しん	0.44	0.19	0.16				0.29	0.17	0	0.20	0	0	0.50	0.54	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.38	0.38	1.00				1.00	2.67	0	0.60	0	0	3.00	0.56	6	2	—
小児科 (定点数:32)	流行性耳下腺炎	0.16	0.03	0.13				0.14	0.17	0	0.40	0	0	0	0.13	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0	0.13	0.25		○		0	0	1.00	0	0	0	1.00	0.63	8	4	—
	細菌性髄膜炎	0	0	0.29		○	○	0	0	2.00	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
眼科 (定点数:8)	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.15	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.14	0.14	0.57		○	○	0	2.00	1.00	0	0	0	1.00	0.39	—	—	—
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.04	—	—	—
基幹 (定点数:7)																		

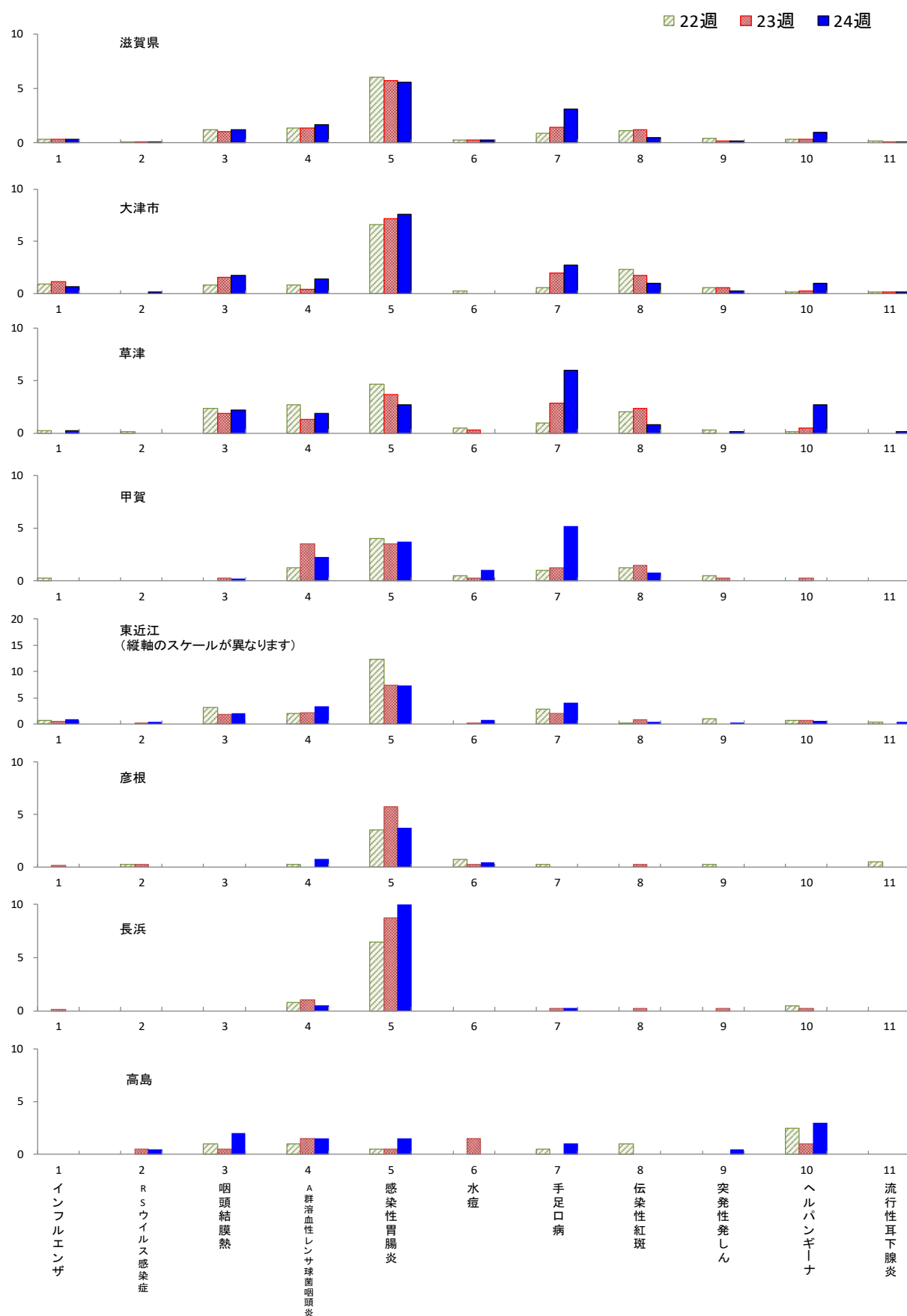
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv 赤字斜字:警報開始基準値を超過、紫字斜字:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸; 定点当たり報告数)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	17	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	2	3	-	3	-	1	-	-	-
大津市保健所	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-
草津保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	8	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

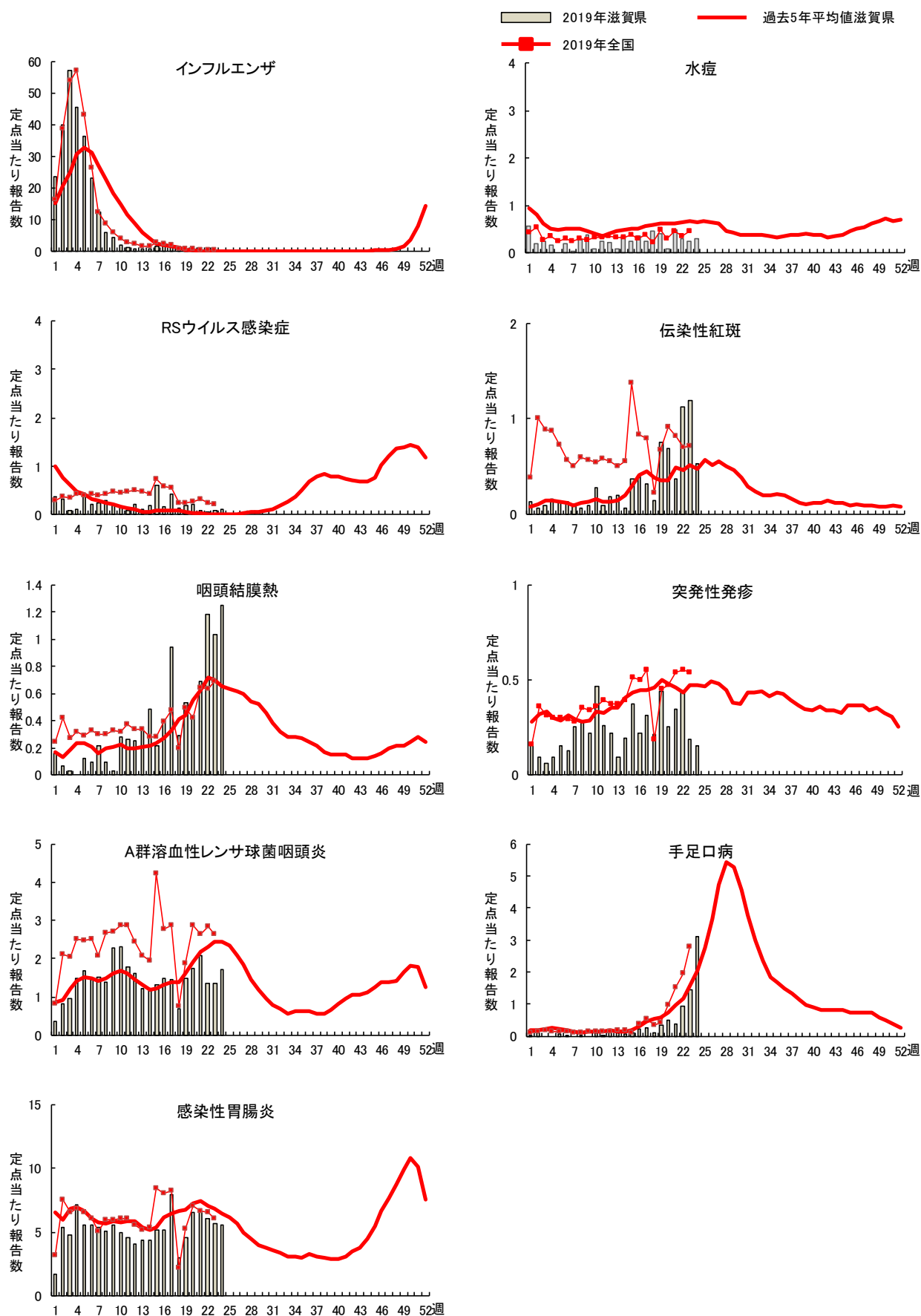
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	40	1	1	10	11	7	4	1	2	-	1	-	-	-	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	55	-	-	1	2	7	8	7	10	5	2	2	8	-	3
感染性胃腸炎	179	2	10	25	15	22	17	26	6	10	13	6	13	2	12
水痘	10	1	1	3	-	-	-	1	-	-	2	1	1	-	-
手足口病	99	2	14	47	18	7	5	1	1	1	1	1	-	-	1
伝染性紅斑 (リンゴ病)	17	-	-	1	1	4	2	-	2	3	3	-	-	-	1
突発性発しん	5	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	32	-	2	15	7	1	5	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	4	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1

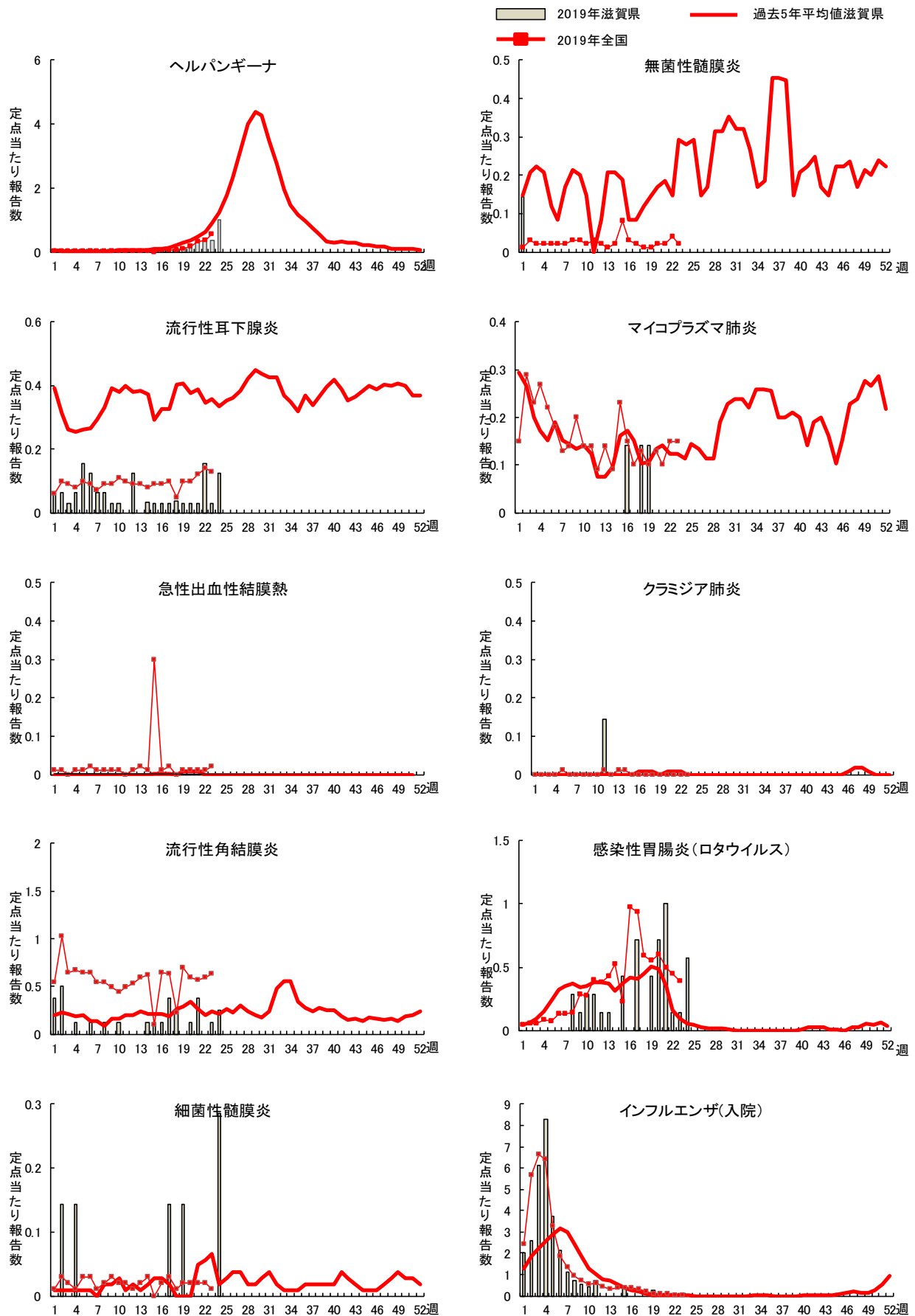
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	23	大津市	60歳代	女	無症状病原体保有者	県外	-
	結核	24	大津市	90歳代	女	肺結核	県外	-
	結核	24	甲賀	80歳代	男	肺結核	-	-
	結核	24	東近江	30歳代	女	肺結核	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	24	草津	10歳未満	男	-	草津保健所管内	O157VT型不明
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	24	長浜	80歳代	女	古典型	長浜保健所管内	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	甲賀	50歳代	男	-	県外	-
	後天性免疫不全症候群	24	東近江	70歳代	男	無症候キャリア	不明	感染経路不明
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	24	東近江	60歳代	男	-	東近江保健所管内	ワクチン接種歴無
	侵襲性肺炎球菌感染症	24	草津	10歳未満	女	-	-	PCV13 4回接種
	百日咳	24	大津市	10歳未満	女	-	大津市保健所管内	DPT4回接種
	百日咳	24	大津市	30歳代	女	-	-	DPT4回接種
	百日咳	24	大津市	10歳代	男	-	-	ワクチン歴不明
	百日咳	24	大津市	40歳代	男	-	不明	ワクチン歴不明

注目すべき感染症

- 妊娠している方へ麻疹（はしか）の流行についてのご注意（公益社団法人日本産婦人科医会）
<http://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/190225measles.pdf>
- 風疹急増に関する緊急情報（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/8278-rubella1808.html>
- 手足口病
 - 手足口病とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>
 - Q&A(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>
- 咽頭結膜熱
 - 咽頭結膜熱とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/adeno-pfc.html>
- レジオネラ症
 - レジオネラ症とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ra/legionella/392-encyclopedia/530-legionella.html>
 - Q&A（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2019 年、全国は前週までの値) vi,vii

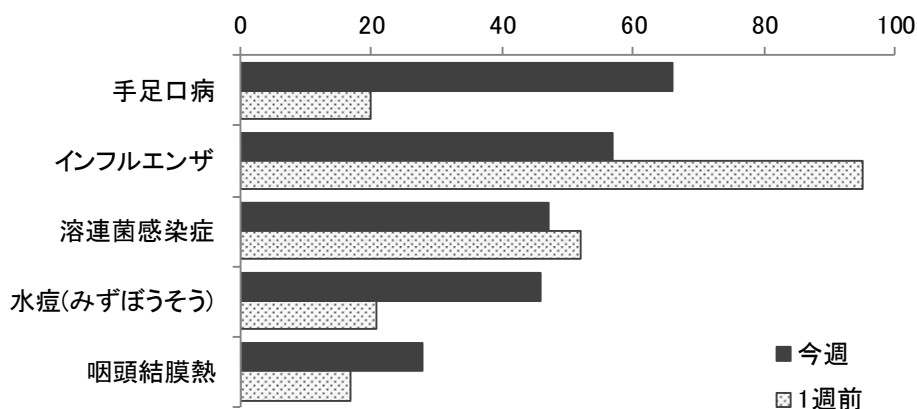
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○	○	129 9.13	57 16.71	20 5.89	12 8.32	15 6.56	12 7.69	10 6.46	3 6.17	8966 7.06	235 16.63	21850 17.21
三類 細菌性赤痢			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	41 0.03	2 0.14	268 0.21
腸管出血性大腸菌感染症	○	○	9 0.64	1 0.29	4 1.18	1 0.69	1 0.44	0 0	1 0.65	1 2.06	639 0.50	30 2.12	3844 3.03
四類 E型肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	222 0.18	2 0.14	442 0.35
A型肝炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	210 0.17	1 0.07	925 0.73
重症熱性 血小板減少症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	31 0.02	0 0	77 0.06
チクングニア熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 0.00	0 0	4 0.00
つつが虫病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	67 0.05	1 0.07	455 0.36
デング熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	133 0.10	0 0	201 0.16
日本紅斑熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	47 0.04	0 0	303 0.24
レジオネラ症			7 0.50	0 0	1 0.29	0 0	1 0.44	2 1.28	3 1.94	0 0	643 0.51	33 2.34	2130 1.68
五類 アメーバ赤痢	○		4 0.28	3 0.88	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	383 0.30	5 0.35	838 0.66
ウイルス性肝炎	○		2 0.14	2 0.59	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	139 0.11	1 0.07	269 0.21
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	829 0.65	11 0.78	2253 1.77
急性弛緩性麻痺	-	-	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	31 0.02	1 0.07	139 0.11
急性脳炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	446 0.35	4 0.28	657 0.52
クリプトスポリジウム症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7 0.01	0 0	25 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病			1 0.07	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.65	0 0	75 0.06	6 0.42	219 0.17
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		7 0.50	1 0.29	1 0.29	1 0.69	3 1.31	0 0	1 0.65	0 0	408 0.32	10 0.71	687 0.54
後天性免疫不全症候群			4 0.28	2 0.59	0 0	0 0	1 0.44	1 0.64	0 0	0 0	490 0.39	10 0.71	1292 1.02
ジアルジア症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	18 0.01	0 0.00	68 0.05
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○	○	7 0.50	1 0.29	2 0.59	0 0	3 1.31	1 0.64	0 0	0 0	279 0.22	7 0.50	483 0.38
侵襲性髄膜炎菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	22 0.02	0 0	37 0.03
侵襲性肺炎球菌感染症			17 1.20	5 1.47	3 0.88	3 2.08	4 1.75	1 0.64	1 0.65	0 0	1830 1.44	41 2.90	3299 2.60
水痘(入院例)			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	199 0.16	5 0.35	461 0.36
先天性風しん症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0
梅毒	○	○	17 1.20	6 1.76	2 0.59	2 1.39	6 2.62	0 0	1 0.65	0 0	2803 2.21	24 1.70	6923 5.45
播種性クリプトコックス症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	64 0.05	2 0.14	178 0.14
破傷風			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	40 0.03	0 0	130 0.10
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	32 0.03	2 0.14	79 0.06
百日咳	-	-	63 4.46	40 11.72	4 1.18	5 3.47	3 1.31	3 1.92	3 1.94	5 10.28	6895 5.43	141 9.98	11947 9.41
風しん	○	○	6 0.42	2 0.59	2 0.59	1 0.69	1 0.44	0 0	0 0	0 0	1718 1.36	12 0.85	2917 2.30
麻しん	○	○	8 0.57	1 0.29	3 0.88	1 0.69	0 0	0 0	3 1.94	0 0	617 0.49	1 0.07	282 0.22
薬剤耐性 アシネトバクター感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 0.01	0 0	24 0.02

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php) へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/300857.html>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

